

## 宝塚大橋の甲虫（その4）

新 家 勝

今回は、カミキリモドキ科からゾウムシ科までについて報告する。

### 19. Oedemeridae カミキリモドキ科

- (1) *Xanthocroa waterhousei* Harold アオカミキリモドキ

V. 20. 1983 武庫川町

VI. 18. 1984 南口2丁目

- (2) *Xanthocroa luteipennis* Marseul キバネカミキリモドキ

VI. 13. 1987 武庫川町

### 20. Meloidae ツチハンミョウ科

- (1) *Zonitis japonica* Pic キイロゲンセイ

第14巻第1号で紹介した通り。その後、VII. 9. 1986及びVII. 10. 1987にも飛来した。

### 21. Cerambycidae カミキリムシ科

- (1) *Megopis sinica* White ウ斯巴カミキリ

VIII. 7. 1987 南口2丁目

- (2) *Prionus insularis* Motschlsky ノコギリカミキリ

VI. 25. 1985 南口2丁目

- (3) *Spondylis buprestoides* Linne クロカミキリ

VIII. 4. 1983 武庫川町

- (4) *Arhopalus rusticus* Linné サビカミキリ

VI. 21. 1979 南口2丁目

前種同様、非常に多い。

- (5) *Pseudaolesthes chrysothrix* Bates キマダラカミキリ

第11巻第1号で紹介した通り。その後、一度も見えていない。

- (6) *Mallambryx raddei* Blessig ミヤマカミキリ

VI. 6. 1979 南口2丁目

- (7) *Cryptoclytus caproides* Bates キスジトラカミキリ

VI. 3. 1979 南口2丁目

- (8) *Purpuricenus temminckii* Guérin-Meneville ベニカミキリ  
 V. 23. 1979 南口2丁目
- (9) *Psacotha hilaris* Pascoe キボシカミキリ  
 VII. 14. 1984 武庫川町
- (10) *Anoplophora malaciaca* Thomson ゴマダラカミキリ  
 VII. 13. 1983 南口2丁目
- (11) *Batocera lineolata* Chevrolat シロスジカミキリ  
 VI. 19. 1981 南口2丁目
- (12) *Mesosa hirsuta* Bates カタジロゴマフカミキリ  
 VIII. 8. 1986 南口2丁目
- (13) *Niphona furcata* Bates ハイロヤハズカミキリ  
 IV. 27. 1983 南口2丁目
- (14) *Pterolophia caudata* Bates トガリシロオビサビカミキリ  
 VI. 25. 1984 南口2丁目
- (15) *Pterolophia annulate* Chevrolat ワモンサビカミキリ  
 X. 19. 1978 南口2丁目

4月下旬から5月中旬にかけて、よく飛来するが、10月中旬にもよく見られる。

22. Chrysomllidae ハムシ科

- (1) *Pyrrhalta tibialis* Baly エノキハムシ  
 VI. 30. 1981 武庫川町  
 VI. 11. 1985, VI. 25. 1987 南口2丁目

23. Anthribidae ヒゲナガゾウムシ科

- (1) *Tropideres flabellicornis* Sharp シリジロヒゲナガゾウムシ  
 V. 21. 1979 武庫川町

24. Curculionidae ゾウムシ科

- (1) *Listroderes obliquus* Klug ヤサイゾウムシ  
 X. 9. 1983 南口2丁目
- (2) *Hylobius abietis* Linné マツアナアキゾウムシ  
 V. 30. 1983 武庫川町
- (3) *Hylobius elongatus* Roelofs ホソアナアキゾウムシ  
 V. 10. 1979 南口2丁目

(4) *Ectatorrhinus adamsi* Pascoe マダラアシゾウムシ

VIII. 10. 1979 武庫川町

(5) *Hyposipalus gigas* Fabricious オオゾウムシ

VI. 11. 1981 武庫川町

### III まとめ

1978年から10年間、宝塚大橋の照明灯での蛾の採集の傍ら採集した甲虫のうち、最高の珍種はミヤコアラハダチャイロコメツキである。誤同定のまま埋もれてしまうところを、岸井先生に同定していただき、陽の目を見ることができた。その外には、これ程のものは見当たらないが、既に本誌で紹介したセマダラナガシクイやキイロゲンセイ、それにアラメヒゲプトゴミムシダマシなどが普通種ではなさそうである。ここで採集した甲虫は、109種で、採集漏れもあることだから、実際はもっと多くの甲虫が飛来する筈である。現に、この付近の河原にと言われていながら、まだ採集していないものとして、オオサカアオゴミムシやダイミョウゴミムシがある。ここで採集をして大変痛ましいのは、路面に降りた昆虫が次々と通行人に踏みつぶされていくことである。たとえドウガネブイブイであっても拾って植込みの中へほうり込んでやりながら、今後ともここでの採集を続けたい。

最後になりましたが、コメツキ類を同定していただきました岸井先生、大阪市立博物館主催の昆虫同定会で各種の甲虫を同定していただきました諸先生方、ハラゲピロウドコガネについて色々ご教示いただきました高橋寿郎氏に厚くお礼申し上げます。

### IV 参考文献

北隆館 原色昆虫大図鑑 II

LAMELLICORNIA 研究会 SAIKAKU 第4号

仲田元亮 能勢の昆虫